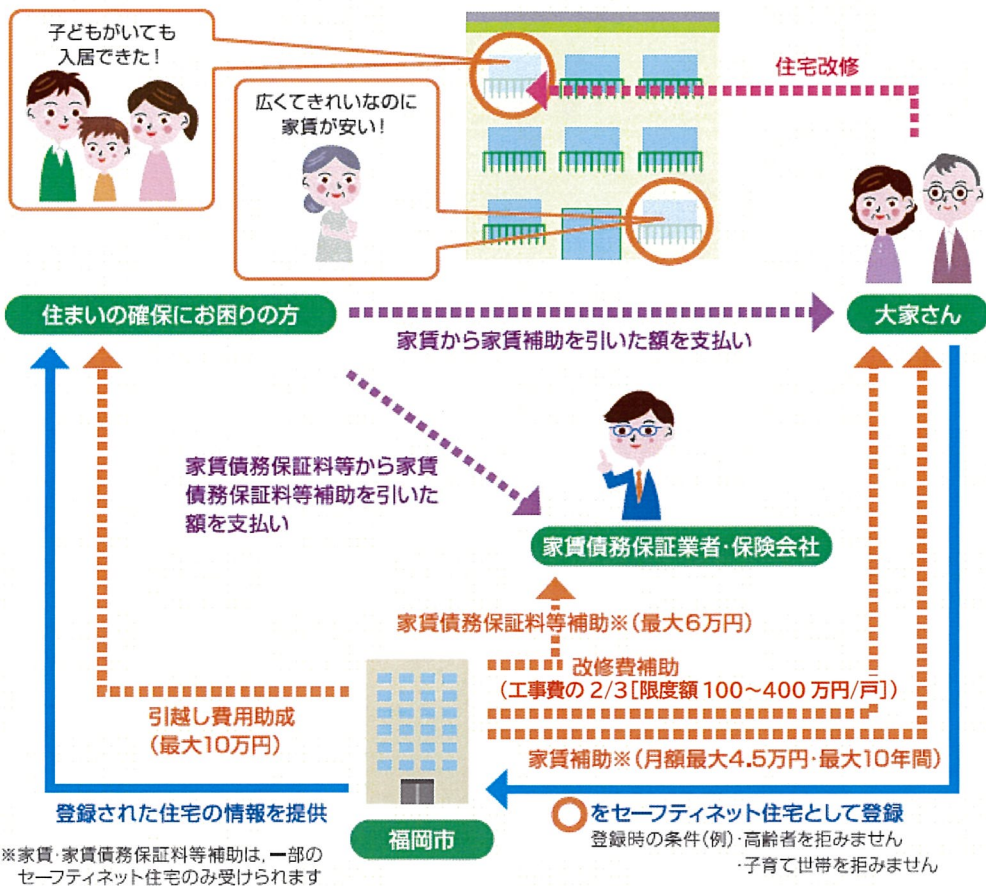
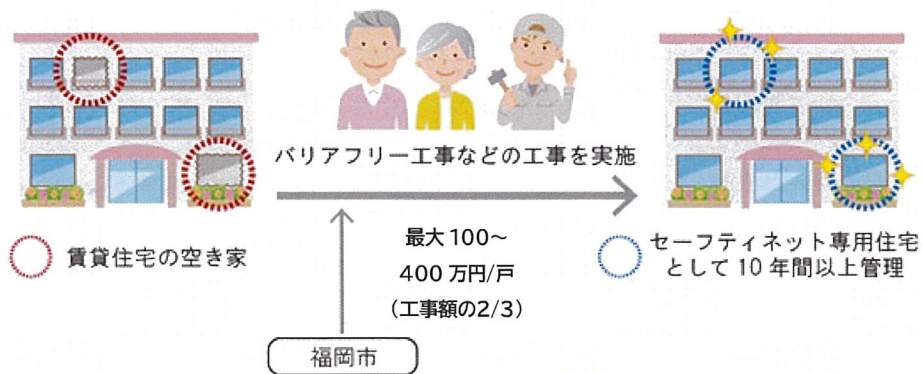


<福岡市セーフティネット専用住宅入居支援事業 制度イメージ>



改修費補助

・「所得が38.7万円以下の住宅確保要配慮者及び被災者世帯」のみの入居を受け入れることとする「セーフティネット専用住宅」として **10年間以上管理**する場合に、バリアフリー改修・間取り変更工事などに要する費用に対して、**最大100~400万円/戸(補助対象経費の2/3)**の補助を行います。



《メリット》

・ **工事の1/3の手出し** (事業者の皆様) で、**物件の価値を高める(住宅機能の向上)** ことができます。

<例> バリアフリー改修工事：100万円  
間取り変更工事：200万円  
補助対象工事合計額：300万円

改修費補助金：200万円  
**(事業者負担：100万円)**

<福岡市セーフティネット専用住宅入居支援事業 制度イメージ>

**家賃低廉化補助**

- ・特に住宅困窮度が高い住宅確保要配慮者の入居者負担低減及び居住環境の向上を図るため、セーフティネット専用住宅として登録した民間賃貸住宅の賃貸人等に対し、市が定める「入居者負担額と家賃との差額」について、**月額最大4.5万円の補助を10年間**行います。

住宅面積70㎡  
契約家賃80,000円の場合の入居者負担額

| 入居世帯の所得(月額)          | 入居者負担額  | 家賃補助額   |
|----------------------|---------|---------|
| 104,000円以下の場合        | 35,000円 | 45,000円 |
| 104,001円以上123,000円以下 | 40,400円 | 39,600円 |

住宅面積35㎡  
契約家賃50,000円の場合の入居者負担額

| 入居世帯の所得(月額)          | 入居者負担額  | 家賃補助額   |
|----------------------|---------|---------|
| 104,000円以下の場合        | 17,500円 | 32,500円 |
| 104,001円以上123,000円以下 | 20,200円 | 29,800円 |

《メリット》

- ・入居者が低い家賃負担で住める **(=入居者が見つけやすい)**
- ・入居者負担が35㎡住宅で17,500円と低額 **(=家賃滞納リスクが低減)**
- ※入居者の収入及び住宅面積に応じて負担額は変わります。
- ・市ホームページ上に物件情報を掲載し周知

**家賃債務保証料等低廉化補助**

- ・住宅困窮度が高い住宅確保要配慮者の入居者負担低減及び居住環境の向上を図るため、住宅を借りる際に「家賃債務保証」を利用する場合の費用及び孤独死・残置物に係る保険料を、家賃債務保証業者又は保険会社などに対し**最大6万円**の補助を行います。